

ひだ

hida

報 廣

ひだ

町 木



第18号

肥田町

郷づくり委員会

H12.9.15発行

ふるさと夏祭りを終えて！

自治会文教部長 鶴野 功

8月20日、好天に恵まれ、広い会場を埋めつくす町民の皆様やご婦郷の懐かしい方々のご来場を得て、盛大な夏祭りを開催することができました。

例年のごとく、各種団体役員方による呼びものの模擬店も、ユニークな趣向をこらして大変な賑わいとなりました。又、今年も特設舞台で、コマドリクラブのショーが大人気を博し皆様に夏の夜の一時を満喫いただいた事と思えます。

夏祭りを開催するにあたり、数々の貴重な物件を貸与いただいたり、格段の御協力を頂

きました事に改めて深く感謝申し上げます。今後とも更に自治会活動に一層のご支援と御協力を賜りますようお願いいたします。

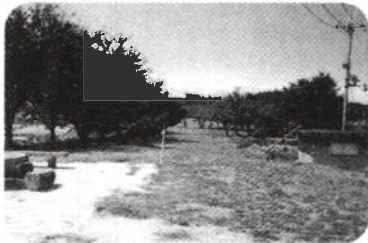


宇曾川堤防クリーン活動

自治会環境部 薩摩 隆司

去る6月4日、9月3日には、早朝より恒例の自治会主催宇曾川堤防および運動場・公園の草刈り作業を実施しました。

宇曾川堤防は傾斜地でたいへん危険を伴うが、事故もなく殆ど草刈機を駆使して約2キロメートルの区間と、又さくら公園と共にきれいに除草されました。さらに、運動場は年間を通じてゲートボール・グラウンドゴルフ等のコート兼ねており、草刈



機で一本の草もなく除草し、見違えるように美化されました。町民の皆様ご苦労さまでした。

福寿会「健康活動の集い」

藤野 泰弘

今年は雨も少なくて真夏へ一直線の七月十三日の暑い日、恒例の福寿会「健康活動の集い」が催されました。ゲートボールにグラウンドゴルフにと、初めてトライされる方も年々増えまして、大勢の参加があり、皆さん楽しく元気一杯、ここでもまた一つ汗に光った励まし合いの輪がしつかり結ばれた美しい風景を嬉しく拝見出来ました。

この頃は、随所に、頭の冴えも体力、気力もまだまだ若い者に負けないぞの気持ちは、本当に頼もしい限りです。これからも益々健やかに、柔軟に年齢を越えたふれあいの場を重ね、新世紀の橋となり、新しい時代の住みよい町への役割をともし力を合せて果たしていきたいと思えます。

地藏盆におもろう！！

肥田町老婦人より

8月になると、子どもたちにとつて楽しい地藏盆がくる。高学年がリーダーとなりいろいろ準備がすむ。それにつけても、毎年、大地蔵さん、小地藏さんにかわいい「よだれかけ」や、おさるの飾物が吊されみんなの目をひく。これらの飾物は、聞くところによると、本町の一老婦人の奇進によるもので、ずいぶん以前より続けられている。殊に、去る昭和59年の第2次宇曾川大改修工事の時、宇曾川より肥田町地先へ上げられた50体余りの小地藏さんに「よだれかけ」を作り、供養され、以来、毎年新しいのを作り、寄進されて



いる。材料は、すべて自前のはぎれを組み合わせた見事な作品で、自分の一つの趣味として作り続けておられる。今後も続く限り作り、お供えしたいと云われている。

夏休みレクリエーションを終えて

肥田町子ども会

7月23日(日)子ども会では夏休みのレクリエーションとしまして、滋賀農業公園「ブルーメの丘」へ行きました。子どもたちが自ら進んで楽しく体験できる活動をとつこと、「お皿の絵付け教室」と「飯盒炊飯」を企画しました。特に飯盒炊飯とカレー作りでは、飯盒でご飯を炊くことはもちろん、お米をとぐことも包丁を持つのも初めての子どももいてハラハラしながら見ていました。それぞれお米をとぐ人・野菜を洗って切る人・かまどに火をおこす人と手分けして一生懸命作業をしてくれました。

「お米10回も洗ったのに水がきれいにならん...」

「そんなに洗ったら味がおちるんやで。」

「ピーラーがないのにどうやってじゃがいもの皮をむくの?」

「人参はどうやって切ればいいのか?」

いつも家で食べているカレーを思い出しながら子どもたちが知恵を出しあって、また、指導して下さった方のおかげもあってとつてもおいしいごはんもカレーができあがりました。

食後に自然の中で少し遊んで帰りましたが、子どもたちの生き生きとした顔が見られて、とても楽しい一日でした。



食後に自然の中で少し遊んで帰りましたが、子どもたちの生き生きとした顔が見られて、とても楽しい一日でした。

終戦の日に思う

鶴野 栄三

太平洋戦争の戦況が極度に悪化した昭和20年1月、米軍の上陸と共に、ルソン島では逃避行が始まった。米軍の圧倒的な砲火に追われたのは我々将兵だけでなく、異国に将来を求め移住の在留邦人もいやおうなく巻き込まれた。歩行困難な老人、女性たちもいた。幼い子が母親にしがみつき逃げまどう姿を見かけた。逃げてても逃げてても容赦ない銃撃にさらされ、ジャングルから谷川へ、深い山奥へと追いつめられた。食料もなく、飢えの連続であった。人達の背負うリュックサックの姿がみじめであった。持ち運んだであろうトランク一杯の紙幣が、至る所に投げ捨てられていた。部隊指揮官の杖としていた軍刀も、持つに絶えられず、捨てた幾人もの姿を至る所で目にしたものである。灼熱地獄の中で、マリアリア・アメーバ赤痢で多くの兵士や邦人が次々と倒れ、その上、連日の激しいスコールで疲れ果てた人達の体を打ちなめした。子供が倒れ、母が亡くなったが、一かけらの形見を拾ってくれる一人の身寄りもなかった。太平洋戦争最大の激戦地、フィリピンでの犠牲者は50万人とも云われた。その多くは、比島攻略戦に編成された。比島派遣軍や補充兵を含む広範囲の徴兵や徴募の軍人・軍属であった。これらの戦友達誰しも故郷には平和な家庭や両親、妻子がいて、日夜毎に祖国を恋い、草枕に見た肉親との再会の夢も空しく、今日のように繁栄の世を知らず若い命を戦場に散らしてくれた名誉の戦士達です。然るに今日、その多くの人達に対する御恩報謝の心も、平和と物の豊かさの陰に埋れ去って、総てが金目当の殺人犯罪や高官の賄賂汚職が毎日の如く報道されている。

祖国の平和を願い、身命をとじて戦い続けた戦士に対し、真に恥ずかしい極みです。とりわけあの苛酷な運命を共にした私が、奇跡に

も一命を授かり、齢三世代の温かい家族に支えられ、この年、「米寿」を迎えられる幸せを思うにつけ、遙か南方の空に深い思いを馳せながら、心から合掌する終戦の日です。

夏休みの硬筆習字から

成宮 伊蔵

硬筆(主に鉛筆)による書写は毛筆による筆勢、筆脈、芸術的云々とは違い、正しい字形で筆圧も程よく、文字の中心をそろえて俗に言う美しく書く事にあると思います。

このためには、鉛筆を正しく持つ事が一番の要件です。それには食事における正しい箸の持ち方です。幼時より箸で豆が上手につまめるような様に始まります。二本の中、うしろになる動かさない一本を取り去り、よく動く前の一本が鉛筆の正しい持ち方となります。

この鉛筆で程よい押え方で、それぞれの字の結体(字形)を理解し、その文字の特異性(とめ、はね、はらい)を正しく表現し、文字の中心をそろえて左右に片寄らず、漢字、平仮名、片仮名の三体混じりの場合は、漢字、平仮名、片仮名の順に大きさを



変えるなど、学年相応の課題により練習を試みましたが、多学年で時間も十分とれず、確かな成果を見ずに終わりました。事は残念な次第です。

たのしい物づくりの集い

郷づくり伝承事業部

8月20日、地蔵盆に集った幼児から小学生の37名が公民館の大会場で、郷づくり伝承部の元持正三おじいさんの指導で、たのしい科



学あそびが行われました。

3才児から小学6年生、さらに大人を交え同じ素材を使って、ストローでティシューパーパー、ちえの輪あそび、わたしの一番よくとぶ飛行機づくり、最後はみんなで自慢の飛行機とばしなど約1時間余り、楽しい時を過ごしました。

身近な素材を生かし目的をもつて子どもたちの作る過程を大切に、科学あそびを満喫し、友だち同志の対話を深めながら楽しく有意義なつどいになりました。

カンガルークラブ 交通安全教室



去る6月19日(月)に、平成12年度カンガルークラブの交通安全教室を行いました。平日ではありましたが、多数参加していただきありがとうございました。

今年度は、彦根市生活環境課から2名来てもらい、交通安全の指導をしていただきました。紙しばいやゲーム、ビデオなど、子どもたちが楽しんで交通ルールを学べるよういろいろやっていたいただきました。



なかでも、横断歩道の渡り方の練習では、部屋に横断歩道のシートをおいて、2人1組になって左右を確認し手をあげて元気に渡りました。あまり通ることの

ない横断歩道ですが、実際の時も今回教えてもらったように渡ってほしいなと思います。

また、今年度からチャイルドシートの着装が義務づけられ、カンガルークラブのほとんどの子ども達はチャイルドシートのほとん車に乗ることはできません。親も子どももチャイルドシートを守り、安全な暮らしができるようにしたいものです。

町史と読んで(訂正)

高瀬 俊英

肥田町史が完成して、やがて5年が経過する。現在でも「町史」の余分はないかと問い合わせが何件かある。肥田町史に興味を申しめていただけた方が、後をたたないことはありがたい次第である。

それにしても、読み返してみるたびに文字の間違いや、より適切なことば遣いなど、訂正し挿入したいことが数多くある。

崇徳寺本尊像が市の指定文化財になっているところから、市教育委員会は、ステンレスの立派な案内板を本堂前に建てられた。文案については、推敲を重ねたつもりだったが、出来上がったと、これもしまったと思うことがあった。寺を最初につくった人(開基)は書いているが、最初の住職(開山)が書かれていない。「南浦紹明」という人で、この方は日本における臨済禅の先蹤で圓通大応「国師」(一一三三〜一一〇八)の称号をうけた方である。

お誕生おめでとう

はなまえ 生年月日
 娘ちゃん H12・6・19 鶴野真明さん

結婚おめでとう

藤野信敏さん 利恵さん(平12・3・11)